

産業建設常任委員会委員長報告

(平成25年10月4日)

産業建設常任委員会に付託されました議案について、審査の経過概要とその結果を報告いたします。

第1号議案 平成25年度亀岡市一般会計補正予算の本委員会所管分ではありますが、その主な内容は、

総務費では、公衆街路灯助成金の増額及び防犯灯設置工事にかかる交通安全施設整備経費の増額補正。

農林水産業費では、狩猟によるシカ捕獲者に奨励金を交付する鳥獣対策事業経費の増額補正。

土木費では、地域こん談会等の要望を踏まえ、道路改修や河川の機能維持・改修を実施する事業費の増額補正等であり、

別段異論なく、採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、第2号議案、平成25年度亀岡市地域下水道事業特別会計補正予算は、前年度消費税確定に伴う納付経費にかかる増額補正及び施設の維持管理経費にかかる債務負担行為の設定等が主な内容であり、別段異論なく、採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、第4号議案、平成25年度亀岡市上水道事業会計補正予算は、府道宮前千歳線地方道路交付金工事に伴う北ノ庄加圧ポンプ場移設工事にかかる増額補正及び水道料金等徴収事務委託経費に係る債務負担行為の設定等が主な内容であり、別段異論なく、採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、第5号議案、平成25年度亀岡市下水道事業会計補正予算は、新会計制度導入支援業務委託経費に係る増額補正及び施設の維持管理経費にかかる債務負担行為の設定等が主な内容であり、別段異論なく、採決の結果は全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、第４９議案、市道路線の認定及び廃止については、開発に伴うものなど、３路線を認定し、２路線を廃止しようとするものであり、別段異論なく、採決の結果は全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

なお、道路の付け替え等の事業着手にあたっては、通行に混乱が生じないように、安全対策を十分講じられることを望みます。

次に、本常任委員会に付託されました請願について、審査経過と結果を報告いたします。

受理番号２、「ＴＰＰ交渉からの撤退を要求する請願」についてありますが、その趣旨は、政府に対し、ＴＰＰ交渉からの即時撤退を求める意見書を提出することを要求するものであります。

議員間自由討議を行い、採決に先立つ討論では、主に農業分野において、

- ・米の生産低下、水田減少を招き国土保全もできなくなることから、無防備な交渉参加から撤退すべきとする賛成の意見。
- ・先の６月定例会において、ＴＰＰ交渉参加に係り、国益を守るため、明確な方針と十分な情報を開示し、的確な対応を求める意見書を国に提出しており、積極的な農政の展開を期すべきとする反対の意見。

等があり、採決の結果は賛成少数で不採択すべきものと決定いたしました。

以上、簡単ではありますが本委員会の報告といたします。

地域要望を踏まえて

道路・河川の機能強化へ

- ・ J R 並河駅地下道改修工事設計 (200 万円)
- ・ 河川の機能維持のための土砂掘削 (200 万円)
- ・ 河川の護岸改修 (1700 万円)

1593

TPP交渉からの撤退を要求する請願

TPPストップ丹連絡会

ほか7団体

請願の趣旨

ＴＰＰは、農林漁業、食の安全、医療制度、保険など、国民生活に広く影響を及ぼすものであり、国民的議論の不十分さに加えて国益を守る保証がなく、情報公開もできていない。ＴＰＰ交渉から即時撤退をされるよう議会から政府に対し、意見書提出を求める。

経年劣化による雨漏りや腐食が進行しているJR並河駅地下連絡通路

賛成少数のため不採択

討論（農業分野）

賛成 米の生産低下、水田減少を招き国土保全にも影響する。無防備な交渉から撤退すべき。

【反対】 先の定例会で、ＴＰＰ交渉参加に係り国益を守る方針と情報開示、的確な対応を求める意見書を国に提出しており、積極的な農政の展開を期すべき。

農作物被害の防止に向け
シカ捕獲強化対策の実施

(445万円)

狩猟登録者が狩猟により府内でシカを捕獲した場合、捕獲頭数に応じて捕獲奨励金を交付。

(2) 力年の緊急措置

TPP：環太平洋パートナーシップ協定。アジア太平洋地域において高い自由化を目標とし、非関税分野や新しい貿易課題を含む包括的な協定として、交渉参加国で交渉が行われています。